

会報 比較家族史 40

事務局 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付
郵便振替(会費) 00130-4-25222 (年報バックナンバー・その他) 00180-3-604964

比較家族史学会第四三回研究大会

日時 二〇〇三年五月二四日(土)～二五日(日)
場所 沖縄大学(地図を参照)
〒902-8521 沖縄県那覇市字国場555番地

問い合わせ先 電話 〇九八―三八二―七三六七

会場 三号館一〇一教室
参加費 五〇〇円

■一日目・五月二四日(土)

○ 会長挨拶(二〇時) 鎌田 浩
○ 自由報告

・冥王まさ子とアメリカ―ラディカル・フェミニズムの視点で解説する(一〇時一五分～一〇時四五分) 堀内キミ子(城西国際大学大学院「院生」)

・沖縄農村における女性の社会参画の現状(一〇時四五分～一一時一五分) 中道仁美(農林水産政策研究所)

・ブナカとサニ―門中の基層構造(一一時一五分～一二時四五分) 林研三(札幌大学) 森謙二(茨城キリスト教大学)

(昼休み)

○ 沖縄とジェンダー
・沖縄的社会構造とは何か(一二時三〇分～十四時) 比嘉政夫(沖縄大学)

・沖縄におけるジェンダー研究・女性運動の流れ(二四時三〇分～一五時) 大城道子(沖縄女性史研究会)

・沖縄における性暴力(一五時から一五時三〇分) 高里鈴代(那覇市議会議員)

(休憩)

・ジェンダー論から見たノロの終身独身制(一六時～一六時三〇分) 津波高志(琉球大学)

・ジェンダー・イッシュューとしてのトートローメー問題(一六時三〇分～一七時) 若尾典子(県立広島女子大学)

・沖縄の伝統的社会における女性の地位―聞得大君・婚姻・離婚(一七時～一七時三〇分) 田名真之(那覇市史編纂室)

○ 懇親会(一八時) 会費 五、〇〇〇円

■二日目・五月二五日(日)

○ アジールと家族
・沖縄にアジールが存在したか?(一〇時～一〇時三〇分) 田里修(沖縄大学)

・沖縄における女性への暴力―子どもに及ぼす影響(一〇時三〇分～一一時) 竹下小夜子(精神科医)

・女性センターとDV(一一時～一二時三〇分) 成定洋子(エジンバラ大学大学院「院生」)

・アメリカンと沖縄社会(一二時三〇分～一二時) 野人直美(琉球大学)

○ 総会(一三時)

○ シンポジウム1(沖縄とジェンダー、一三時三〇分～一五時) 司会 田里修・三成美保

○ シンポジウム2(アジールと家族、一五時～一六時) 司会 津波高志・戒能民江

運営委員 田里 修(沖縄大学・委員長)・比嘉政夫(沖縄大学)・津波高志(琉球大学)・大城道子(沖縄女性史研究会)

■大会運営委員会から

1 参加費などについて次の通りです。

・参加費 五〇〇円

・懇親会 五、〇〇〇円

・懇親会会場 一号館 五〇二教室

・弁当 七五〇円

(出欠のハガキでお申し込みください)

2 エクスカーションについて

エクスカーションとして、次の二つのコースを設けることにしました。二つのコースの費用には、ともに昼食を含んでおりません。同封のハガキでお申し込みください。費用は、学会の受付時にお渡しください。二六日の七時以降の夜の便で帰る方はできるだけ時間を調整し、飛行機の便に合うようにしたいと考えています。

Aコース＝慰霊・お墓コース 幸地腹門中墓

(糸満) ↓ 摩文仁・平和の礎 (昼食) ↓

風葬場所の見学 ↓ 世界遺産・斎場御嶽(知念村) ↓ 浦添ようどれ(琉球王朝の墓、伊波

普旨の墓) ↓ 読谷村・象の檻の見学「あるいは世界遺産・識名園の見学」

・費用 三、五〇〇円(予定)

Bコース＝久高島コース 幸地腹門中墓(糸満)

↓ 摩文仁・平和の礎 (昼食) ↓ 風葬場所

の見学) ↓ 久高島の御嶽・割地跡の見学 ↓

世界遺産・斎場御嶽(知念村)

・費用 五、〇〇〇円(渡し船の費用を含みます。予定)

3 航空・宿泊について

(株)日本旅行沖繩からの割安のプランを提案していただき、その申し込み用紙を同封しました。申し込みは、直接、(株)日本旅行沖繩の方へしてください。

なお、ホテルについては、次のeGサイトもご利用できます。オンラインで予約できるホテルもあります。

<http://www.oahnet.or.jp/naha.htm>

シンポジウムの趣旨

○シンポジウム1「沖繩とジェンダー」

これまで沖繩における女性の地位の問題は多様な論点をもって論じられてきた。一つは開得大君やノロの祭祀社会における女性の地位の優越である。あるいは、オナリ神信仰における兄弟と姉妹との関連である。女性の地位が高かったとか低かったとか、そのように論じるだけではそれほど有意義であるとは思わないが、沖繩という社会の中で女性がどのような位置づけを与えられてきたかについては論じる必要があるだろう。

また、このような伝統的な女性の地位が現代にどのような繋がっているか。この問題については沖繩における女性史・女性学の研究の展開と現代の女性問題の現状認識を通じ

て、問題の全体像を明らかにしていきたい。これまでの沖繩研究については、歴史学と社会人類学(民族学)・民俗学が大きな貢献をはたしてきたが、この両者の密接な連携があったとは言いがたい。本シンポジウムを通じて、改めて沖繩研究における学際的な研究の意義を確認することができれば幸いである。

○シンポジウム2「アジールと家族」

前回研究大会に引き続き、アジールと家族をテーマにとりあげる。

アジールとは「聖なる場所」あるいは「避難所」を意味し、国家や警察からの追及を逃れ、自由になることができる空間である(阿部謹也)。国家権力による政治的抑圧や人間生存の危機から逃れるための亡命や難民問題だけではなく、家族や学校という制度の抑圧と差別からの自由と安全を求めるひとびとのための社会的装置としても、現代におけるアジールは社会的な注目を浴びている。

DV防止法が全面施行されて1年あまり、多くの女性と子どもたちが暴力から逃れてシェルターに一時保護を求めようになった。しかし、法律制定という私的問題の公的問題化によって、「暴力」が国家によって枠付けられ、公的な「保護」が正統化された。そのことにより、民間シェルターが社会に投げかけてきたDVのアジール性が薄められたのではないか。「逃れる」ことが「自由の獲得」を意味しないとすれば、

それはなぜか。国家に取り込まれることなく、新たな共同空間を形成することは可能なのだろうか。

沖縄におけるアジールと家族について、そもそも沖縄にアジールが存在したのか、存在したとするならばどのようなものであったのかという議論から、シンポジウムは出発する。さらに、アメリカの軍事支配と排他的な国民創設を目的とした日本の国籍制度がもたらしたアメラジアン問題について、アメラジアン・スクールが沖縄社会に持つ意味を考えるとともに、沖縄におけるDV問題の構造の特徴、取組みの困難と社会や家族の家長的権力との関係などについて議論する。その場合、今大会のもう一つのテーマである「沖縄とジェンダー」での議論との接合が意識されることになる。

■事務局からの連絡

1 年会費納入のお願い

年会費は、個人会員は三〇〇〇円、賛助会員は五万円です。今回は今年度分(未納分のある方はそれを含めて)の年会費をお願い申し上げます。振込み用紙を同封しております。事務局長ようやくアクセスに挑戦、住所ラベルの右下の既納年度(平成十五年三月三十一日現在)を更新してありますが、同日以降の振込、および行き違いの節はご宥恕ください。

2 「シリーズ比較家族」の購入について

三期第一巻「父・家族概念の再検討に向けて」が刊行されました。この案内とともに「シリーズ比較家族」既刊分のチラシを同封しました。これまでもたびたびお願い申し上げましたが、現下の出版状況から、とくに会員及び会員の所属各大学図書館での購入方につき、特段のご協力をお願いします。公費等の購入も、いつでも早稲田大学出版部にご連絡ください。

連絡先 早稲田大学出版部

電話 03-3203-1551

FAX 03-3207-0406

3 「比較家族史研究」バックナンバーについて

在庫が超大量に残存、事務局担当者の研究室はその倉庫と化しつつあり。理事会で既刊分13号までは一冊500円に値下げして販売することが、決定しました。「比較家族史研究」17号を発送のときに、既刊分の総目次の別刷を同封の予定ですが、ふるって在庫処分にご協力ください。なお、創刊号は在庫がありません(ほかに在庫切れがあるかもしれません)。箱が多くて確認しておりませんが、購入希望の方は、学会事務局へご連絡下さい。

4 「事典家族」の購入について

定価二二〇〇〇円の二割引で販売します。弘文堂のほかの書籍も割引になります。会員以外の方でも会員の紹介があれば同様にさせていただきますので、直接連絡してください。

さい。

連絡先 弘文堂(担当 浦辻)

電話 03-3294-7003

FAX 03-3294-7034

5 「家族—世紀を超えて」について

昨春秋の大会に間に合わせて日本経済評論社から出版された、本学会の20周年記念論集「家族」について、チラシを同封いたしました(FAX購入申込書になっています)。これのご購入方(二割引)についてもお願い申し上げます。

連絡先 日本経済評論社(担当 谷口)

電話 03-3230-1661

FAX 03-3265-2993

6 年会費納入に伴う会報等の発送先住所

最近、税法上の関係で年会費納入の住所・氏名を学校法人にする方がふえてきました。会報等の発送先住所・氏名まで変更すると事務量が膨大になりますので、従前のおりを踏襲していただければ幸いです。

なお、法人名で振込まれるときには必ず通信欄に会員の氏名を銘記して下さい。

7 事務局連絡先

〒101-8425 東京都千代田区神田神保町三の八 専修大学法学部 高木侃研究室気付 比較家族史学会

電話 03-3265-9374 (直通)

FAX 03-3265-6297

e-mail

■理事会議事録

日時 2002年10月25日(金)

場所 太田グランドホテル

出席者数 三三名(委任状を含む)

1 新入会員および退会の承認

新入会員五名(別項参照)と地主喬・瀬野精一郎・林純子・峰岸純夫・村崎真智子・岩田重則氏の退会が承認された。

2 年報編集状況

形式につき、A5版、タテ書き・ヨコ書き混在形の件、および担当者より示された原案承認。

3 『シリーズ比較家族史』準備状況

研究大会での報告・編集については、目次・編集方針を編集委員会と理事会に諮って、最終的に刊行についての諾否を決定すること。また、早大出版部から、第三期以降のシリーズおよび再版本については、版型をA5版にするとの申し入れを承認。また各巻の進捗状況の報告あり。

4 20周年記念論集『家族—世紀を超えて』について

この大会に間に合わせて日本経済評論社から出版され、理事に披露、報告した。

5 学術会議関連事項

会長から学術会議の現状と問題点の報告などあり、推薦人等についても流動的であること。

6 次回の大会の準備状況

次(四三)回研究大会—本号記載の通り—

担当の沖繩大学田里修氏から日程・テーマ・エクスカーション等について、説明を受ける。次々回は成城大学にお願いする方向で折衝に入る旨了承。

7 年報等の在庫管理とその処分方

既刊分13号までは一冊500円に値下げして販売することが、決定。膨大な量の在庫にぜひ購入方をお願いします。

■総会議事録

日時 2002年10月26日(土)

場所 尾島町生涯学習センター(群馬県)

1 新入会員および退会の承認

2 次回の研究大会について

3 『比較家族史研究』について

進捗状況、執筆要領の説明、タテ書き・ヨコ書き混在形の件了承される。

4 『シリーズ比較家族史』について

現在の状況が報告される。

5 学術会議関連事項について

学術会議の現状と問題点の報告等なされる。

■新入会員

奥井亜沙子(神戸大学大学院・家族社会学)、金井重彦(弁護士・家族法、宗教法)高美正(東京外国語大学大学院・近世女性史)、後藤秀和(学習院大学・オーストリア歴史家族研究)、山内恵(清泉女子大学・アメリカ社会文化史)

■住所の変更・訂正

(傍線部分が訂正)

加納啓良

矢野啓一

荒井和美

■会員著書・受贈著書(単行本・事務局に連絡のあったもの)

梅村佳代『近世民衆の手習いと往来物』梓出版社、二〇〇二年、三五〇〇円

服藤早苗編著『歴史のなかの皇女たち』小学館、二〇〇二年、二八〇〇円

溝口常俊『日本近世・近代の知作地域史研究』名古屋大学出版会、二〇〇二年、六五〇〇円

永原和子編『家業と役割』吉川弘文館、二〇〇二年、六三〇〇円

長野ひろ子『日本近世ジェンダー論』吉川弘文館、二〇〇三年、七〇〇〇円

井上治代『墓と家族の変容』岩波書店、二〇〇三年、四二〇〇円

女性史総合研究会編『日本女性史研究文献目録IV』東京大学出版会、二〇〇三年、八二〇〇円